

平成26年4月22日

上ノ国町議會議長  
若狭大四郎 様

氏名 市山昭義 

平成25年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成25年度政務活動費収支報告書を提出します。

## 政務活動報告書

### 1 政務活動名

農漁業調査研究

### 2 政務活動内容

- (1) 平成25年10月28日  
道の駅「三芳村」鄙の里  
千葉県南房総市川田82-2
- (2) 平成25年10月29日  
千葉県東安房漁業協同組合
- (3) 平成25年10月30日  
千葉県水産総合研究センター

### 3 政務活動成果

#### (1) 道の駅「三芳村」鄙の里

千葉県の南房総市にある道の駅三芳村や物産センター、加工施設を研修視察した。三芳村は、丘陵地帯という地形を利用して酪農も盛んなことから、三芳村農畜産物処理加工施設では、低温殺菌牛乳や、加工製品としてヨーグルトやアイスクリームの製造を行い、製品の販売は道の駅・物産センターで行っている。また、道の駅に隣接している農産物直売所の「土のめぐみ館」では、地場産の野菜も多数販売しており、同販売所のホームページ上では生産者氏名等を公開している。

#### (2) 千葉県東安房漁業協同組合

東安房漁業協同組合の概要

平成23年3月1日合併

・合併漁協数 4漁協

白浜町漁協  
房州ちくら漁協  
和田町漁港  
天津小湊町漁協

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

別紙2

- |           |   |
|-----------|---|
| ・組合員数     | 4,968名  |
|           | [ 正組合員 1,067名 ]   |
|           | [ 準組合員 3,901名 ]   |
| ・漁港       | 17港   |
| ・漁船数      | 964隻  |
|           | [ 0~1t 441隻 ]   |
|           | [ 5~10t 466隻 ]  |
|           | [ 1~5t 35隻 ]  |
|           | [ 10t以上 22隻 ]   |
| ・職員数      | 102名  |
|           | [ 男子 83名 ]  |
|           | [ 女子 19名 ]  |
| ・主な施設     | [ 本所、4支所、5出張所、鮑種苗センター、蓄養施設<br>水産加工場、鮑養殖施設、直売施設、製氷工場<br>漁村センター、G・S ] |
| ・1年間の販売事業 | 27億900万円  |
|           | [ 受託 26億5,100万円 ]   |
|           | [ 買取 5,800万円 ]  |

1隻当たり270万円位で厳しい状況であり、上ノ国町の組合員の現状と変わらないものと思われます。

主な漁獲量は、マイワシ全国1位、鮑2位です。

鮑蓄養事業	1億9,100万円
鮑自営養殖	2,700万円

### 鮑事業の特徴について

#### ①大量集中放流

1区画あたり2万個、5地区計10万個を放流している。

#### ②全量回収

特定区画内の鮑を、放流3年後に潜水器具等を使用し、全量回収する。

#### ③輪採制による管理

放流、回収を毎年継続するため、1年次はA区画に、2年次はB区画に、3年次はC区画に放流し、4年次にA区画で回収後2回目の放流を行う。これを順次繰り返し継続する。

※ 鮑種苗放流を、経済事業としてシステム化した区画の造成を、鮑海洋牧場として位置付けている。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

- 漁協では、事業の実施に当たり、次の事項を取り入れている。
  - ・全量回収を容易にするため、ブロックは大人2人で海中での持ち上げ可能な小型平板（100kg程度）を用いる。
  - ・放流鮑の逸散を防止するため、区画の周辺に10mの緩衝帯を設ける。
  - ・共同体による運営管理  
各地区毎に20人前後の専業漁業者で組織された共同体が運営管理する。
- ◎上ノ国町にも鮑種苗センター、海洋牧場があります。このような運営管理ができれば、もっと活性化につながるのではと思いました。  
上ノ国町の漁業の経営は、年々悪く大変厳しい状況で組合員、漁船数も減少しています。高齢者の漁業者が多く、若者が少ないのが現状です。若者の漁業者を育てるためにも、このような事業ができればと思います。

### （3）千葉県水産総合研究センター

平成17年4月1日、生産現場や消費者のニーズに対応した試験研究を重点的かつ効率的に行い、千葉県の水産業を的確に支援していくため、水産総合研究センターが設置された。

上ノ国町では、年々漁獲高が減っている。水産資源を持続的に利用しながら漁家経営の安定と沿岸域の水産資源の増大を図るためにには、この様な研究が必要なのではないかと思いました。

のり養殖技術や貝類増殖技術など、内湾漁業経営に必要な技術・知識を普及するための研修等も実施しており、これからはこの様な研修を取り入れながら、栽培漁業等にも力を入れていく必要があると感じた。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

千葉県南房総市 道の駅「三芳村」鄙の里



千葉県水産総合研究センター

